

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
建築設計科											
建築一般構造 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	村田 佑希			実務経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
建築構造の種類、構造材の種類および木造建築の構造を中心に学びます。											
到達目標											
次の4点を到達目標とする（期末試験90点以上）。 ①木構造の特徴と構造形式を理解する。 ②木材の性質と特徴を理解する。 ③軸組構法の構成を理解する。 ④桝組壁構法の構成と特徴を理解する。											
授業方法											
実務との関連を意識しながら、建築材料や建築生産などの専門科目とも関連付けて授業を進め、理解度を深める。講義では、各部材が建築物の中でどこに使われていて、どのような役割があり、そのために、どのような工夫がされているのかを意識しながら聞いてほしい。またテストは、建築士試験の過去問題を参考に作成している。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する											
履修上の注意											
受身ではなく、主体的に取り組むこと。ノートはていねいを書く必要はなくメモで構わない。予習・復習を怠らないこと。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
初めての建築一般構造 改訂版 学芸出版社											
回数	授業計画										
第 1 回	建築構法の変遷										
第 2 回	建築構造の分類、建築上の留意点										
第 3 回	木構造の特徴、構造形式										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
建築設計科	
建築一般構造 1	
第 4 回	木材、木質材料の種類と特徴について
第 5 回	軸組構法の構成、木材の接合について
第 6 回	基礎の構造、土工事について
第 7 回	壁、柱などの垂直部材の構造について
第 8 回	筋かい、胴差し、火打ちなど斜材、水平材について
第 9 回	小屋組の種類、特徴、構造について
第 1 0 回	束の有無による床構造について
第 1 1 回	地震力、風圧力に対する必要壁量の検討
第 1 2 回	桝組壁構法の構成と特徴について
第 1 3 回	桝組壁構法で使用する木材の規格、接合について
第 1 4 回	桝組壁構法の壁量の検討
第 1 5 回	構造用大断面集成材を用いた構造